

2004

第3号

平成16年1月1日発行

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会報

ケアマネちゃんぽん

発行責任者：長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局 協議会事務局住所：〒852-8065 長崎市横尾三丁目26-1
TEL095-856-6001、095-814-6688 FAX095-856-6002 E-mail:kamimu-n@heisel-kai.or.jp

謹賀新年

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会 事務局長
プライエム横尾 神村 紀行



長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会会員の同士の皆様、新年明けましておめでとうございます。事務局ごときが広報誌の巻頭に出るのはとてもおこがましいのですが、広報委員会で決議されたことですので、お許し願います。

2000年7月に長崎市の支援のもと長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会（以下協議会とする）を設立し、2001年からは会員だけで運営してきたわけですが、早くも4年を経ようとしています。役員や会員の皆様のお陰で、なんとか助けられて事務局を務められていますことを心より感謝いたします。協議会も現在94事業所が加入いただいております。各ブロックで各ブロックの会員の声を反映した活動が展開されるようになっております。研修会や交流会、行政への要望活動や、協力活動、情報提供やまた広報活動等も本広報誌発行などにより、一層充実してきたと感じています。これからもより協議会を目指して連携を図り頑張っていきたいと思います！

ところで、国が介護保険は概ね順調だが、問題はケアマネだと言ったことを聞いて憤慨しております。介護保険が実施されてから、どんな思いで私たちが奔走してきたか。見切りスタートしておいて、国民にもケアマネにも十分な理解や通知を行わず、今になってケアマネの質が問題だとは何ごとだと言いたいのです。確かに私自身、勉強不足から業務の不備があることは認めますが、いつも利用者の立場にたって仕事をしているつもりです。多くのケアマネがそうだと思います。机の上と現場では違うのです。一生懸命頑張っているケアマネの意欲を無くすような言動は慎んでもらいたいと思います。このようにまだまだ厳しいケアマネの立場ですが、この仕事に就いてよかったと思うように早くなるには、他人任せでは駄目だと思うのです。自らが動かなければ、状態は変わりません。ケアマネ一人の力では難しいかもしれませんが組織で動くことは大きな影響を与えることができると思います。そのためにはこの協議会を上手に使うことだと思います。

皆様が積極的に協議会の活動に関わっていただきますよう、心よりお願い申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

「ケアマネちゃんぽん」創刊1周年によせて・・・

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会 広報誌編集委員長
居宅介護支援事業所 リエゾン長崎 川副 巧成



読者の皆様、謹んで新春のお慶び申し上げます。

早いもので「ケアマネちゃんぽん」は第3号の発刊を迎えました。一人でも多くの皆様に覚えていただければ幸いです。

さて、刻々と変化する介護保険制度の下、利用者の皆様へ良質なサービスを提供するためには、ケアマネ同士の結びつきは不可欠なものでしょう。昨今はインターネットや携帯電話など、人と人を結ぶコミュニケーションツールは急速にデジタル化しています。そんな中、この広報誌というスタイルには良い意味でのアナログさを感じます。なぜなら、その記事の一つ一つは編集委員が議論を重ね、編集作業を通じ会員の皆様にプラスな情報を届けるという思いを文章にしています。また、日々の業務に限らず、思いや苦勞を文章にすることで、会員相互の共感を得られるよう工夫を重ねています。苦勞して仕入れた情報を共有し、その気持ちを共感する、ケアマネちゃんぽんではそんな広報誌の「アナログ」な部分を大切にしていきたいと考えています。

私たち居宅介護支援事業者は、利用者の皆様の生活のサポートという大切な使命があります。その使命を果たす上で、今後「ケアマネちゃんぽん」が、ケアマネ同士の結びつきに役立つものとして成長することを願っています。

会員の皆様、これからもご愛読宜しく申し上げます。

も

<

じ

- ・特集1
ケアマネかわら版新春特大号…P 2, 3
- ・特集2
長崎Dr.ネットのご紹介 ……P 4

- ・学会・研修報告……………P 5
- ・勉強会・研修案内……………P 6
- ・その他……………P 7

特集①

ケアマネかわら版

新春特大号

ケアマネのうれし*悲し*

*悲しい時！！

- ・昼休み限定訪問 昼食抜きで笑顔対応。
- ・利用者と事業者の間で板ばさみ でもやせない私。
- ・ケアマネは昼食スピード摂取。ダッシュ訪問。スピード消化で夕方おやつポリポリ。
- ・がんばっているのに、未だに印鑑の人とされている。

*うれしい時！！

- ・サービス導入し、「ありがとう助かってます」と喜ばれた時。
 - ・お互いに愚痴を聞いてくれる、相談にのってくれる仲間がいるのがうれしい。
- (匿名希望、ケアマネうれし*悲し事業所)



自分流にケアマネージャーをしたかった

居宅介護支援事業所を立ち上げて1年が経ちました。周りの方からの支えがあつての1年でした。一人で立ち上げて、社長業・ケアマネージャー業にと奮闘しています。どうにか軌道にも乗り順調になってきています。一人で開設して“根性もの”とか“偉い人”とか言われましたが、根性ものでもなく、偉い人でもなくただ、ただ、“自分流にケアマネージャーをしたかった”私のわがままです。一人でする事で辛いのは、悩みがあったり、行き詰まったりした時にすぐ相談できる人がいないこと。しかし、他事業所のケアマネージャーに相談したり、愚痴を聞いてもらったりしながらどうにか乗り越えてきました。在宅生活をその人らしく送れるように利用者の立場に立ち、公正中立の立場からマネジメントする。理想に近い状態でしているつもりですが、さて利用者様はどのように思っている事やら・・・。ただの私流で終わっていないかと振り返ったり考えたりしています。楽しいことは、たくさんありここでは書けないくらいです。まだまだこれからどうなるのかわからない介護保険。私の事業所もどうなる事やら・・・。サービス事業所へは無理難題を言っているのではないかと思います。が、これからもよろしくおねがいします。

(匿名希望、ケアマネより)

もうしばらくここで頑張ります！

ケアマネ仲間ですぐ飲み会がある。昼間の眠くなる（失礼！）研修も良いが、夜の研修は、本音で語り合うことが出来て、とても参考になる。よく名刺を交換するが、昨年A事業所にいたのに、今年はB事業所になっているという人が意外に多いのに、びっくりしている。介護保険が始まって4～5箇所の違う名刺をもらっている人もいる。確かに事業所によっては労働条件もまちまちで、給料も比べると非常に差がある。先日、Iさんと比べたら、手取り額が10万円も違って（学歴は違うが同じ年）びっくり返りそうになった（もちろん私のほうが安い）。そんな私にも最近お声がかかり、心が揺れることもあったが、利用者の顔が浮かび、今までの苦労が横切り、これを機に自分の仕事を見直すことが出来た。

在宅のケアマネは大変だけれど、もうしばらくここで頑張ります！

自分ではなかなか体験できないようなことを、皆さんと関わることで経験することが出来ます。次回の飲み会を楽しみにしながら、利用者のために走り回っている今日この頃です。

(だんご三姉妹 次女より)

少しでもお手伝いできれば・・・

ケアマネちゃんぽん。おもしろいネーミングで親しみやすく、記事もととても読みやすい。仕事を忘れて読みいってしまった。編集員の皆様たいへんご苦労様です。私は看護師で流されるまま生きてきたので、受けたくて受けたわけではないケアマネの試験になぜか合格してしまい、職場の業務命令でケアマネの仕事を始めた。この仕事は嫌いではないが薬の残薬を数えて日付を打ったり昔の戦争体験を繰り返し聞いたり、「台風が来るから」と家の戸締まりをしている時などに、ふっと手が止まりこんな仕事をしていいのか？他のケアマネはこんなことをしているのかな？他にすべきことが山のようになまっているのに・・・と思うことがある。白衣を着なくなつて数年経った今、注射針を見るのも怖くなり心電図の見かたも検査も薬も、必死で覚えた英語の医学用語も忘れたようでとても不安である。しかし、病院の中の看護師では到底わからなかった広い世界を見ることができた。一人の人を取り巻く様々な人間関係、お金や嫁姑の関係。サービス事業所の苦労また本当にたくさんの方々と顔見知りになれた。近道も覚えた。今では市場のおばさん達からも利用者の紹介があったり、「ご苦労様」と声をかけてもらえる。1ヶ月が矢のように過ぎていく毎日だが、面倒みることができない両親のことを考えつつ高齢者が自宅で安心してくらししていけるよう、少しでもお手伝いできれば・・・と今日も訪問に出かけたいと思う。

(匿名希望のケアマネより)



荒野のケアマネージャー

平成15年7月から民間会社のケアマネージャーをやりに始めて数ヶ月、まるで荒野を独り行くが如くであります。施設に勤めていた頃は、給料を貰うのは当たり前、経営の事は関心も持たなかったのですが、今は何もかも・・・。ツテ、を頼ってお年寄りを紹介して頂き、市内中を走り回る毎日。ここは「世界のミフネ」よろしく荒野の素浪人気分で、臆する事なく前向きに仕事に取り組んでいこう！そう思う今日この頃であります。

(執筆者：理想・独立・中立のケアマネージャー)

仕方がない・・・

日々の複雑な業務でクタクタの毎日・・・。休日、ストレス発散にドライブに出かけた日のこと。おいしいものを食べ、きれいな景色にのほほんとしてしていると、携帯のベル。『こちらに入院されていた、〇〇さん、本日退院されました。明日からサービスをお願いいたします。』と入院先のナースより。『え～っ、そんな突然、しかもこんなところでいわれても！！』といたくても仕方がない・・・。すばやく気持ちを切り替えて、入院中の変化様子をナースに確認。各事業所、家族、本人との調整に電話を掛けまくり・・・。ふと見ると、家族は白い目でまちぼうけ、なんだかせっかくの休みも台無しになってしまったような・・・。結局疲れを蓄積したまま翌日、又仕事。どうにかならないものか・・・。なるはずもなく心はつかれていても顔は作り笑いをして又訪問に出かける毎日。はあっ。これから先もケアマネ続けるのかなと自問自答しています。

(匿名希望のケアマネより)

初志貫徹

年末・年始何のその、相談や調整に明け暮れた同士の皆様、本当にご苦労様です。どこかで、誰かがちゃんと見ています。又、いつか、いい事もあります。お互い頑張りましょう。最近私は、何の為にこのサービスか、そしてこの支援は何に繋がっているかと考えます。そこに意味や質を求めたい。その後を議論したい。効果が解る、建設的なケアプラン。少しは成長したプランを作り、評価に力を入れたいと思います。初志貫徹できるかなあ？！

(匿名希望のケアマネより)



特集②

『長崎在宅Dr.ネット』のご紹介

長崎在宅Dr.ネット広報部長 詫摩 和彦
(医療法人たくま医院)

この度、貴誌にて私共の『長崎在宅Dr.ネット（ながさきざいたくドクターネット）』の紹介の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

『長崎在宅Dr.ネット』（代表：藤井外科医院 藤井卓先生）というのは、平成15年3月に発足した新しい会で、会員数は現在30数名です。この会は、複数の医師が連携することによって、在宅の患者さんが安心して療養できるような環境を作ることを目的に発足しました。

背景としては、昨今の医療保険の改定により病院での長期入院が困難になってきたことや介護保険の普及等にて在宅医療のニーズが増してきたことがあります。ただ一開業医にとっては、重症の患者さんを数多く診ることは、心身ともに大きなストレスでもあり、実際に積極的に在宅診療を実施している開業医は少ないのが現状です。そこで、まず在宅医療に関心のある医師を集めて、診診連携・病診連携の形を整え、その中でグループ診療を行うことで、患者さんや病院側に対しては在宅医療の受け皿となり、開業医にとっては個人の負担の軽減を図れるシステムを構築しようと考えたわけです。

具体的には、病院側（主治医や病診連携室）から、当会の事務局（白髭内科医院）に在宅診療希望の患者さん発生の連絡を受けるところから始まります。そして事務局から、当会のメーリングリスト宛てに主治医を募るeメールが送信され、該当地区の会員が手を上げるという形をとります。その際に、主治医とともに副主治医（主治医が対応できない場合の補佐役）も決定します。その後、主治医と副主治医が相談しながら在宅診療を開始します。また、当会には協力医として皮膚科・眼科・精神科・脳外科・麻酔科・整形外科・形成外科・泌尿器科・婦人科などの専門性の高い領域の開業医の先生方や大学病院を始めとする病院の先生方にも相談役として入会していただいております。もちろん、各訪問看護ステーションとも密な連携を図っております。

このようなオープンなシステムで在宅診療を行っていくというのが当会の方式ですが、在宅の場合、医療だけでは完結できません。介護保険サービスがあって初めて患者さんが安心できる在宅療養ができるものだと思っています。そのためには、当初（退院前）からケアマネージャーさんに加わってもらって、患者さん側と医療機関側の橋渡し（連絡や問題提起）をして頂き、その上でオーダーメイドなケアプランを立てて頂く必要があると切に感じています。医療と介護は横並びです。先日開催した症例検討会でも、あるケアマネさんから厳しい忠告や提案も受けました。今後もお互い叱咤激励しながら、在宅の患者さんやその家族の方々のためにがんばっていければと思っています。

まだまだ発展途上の会ではありますが、御協力の程よろしく申し上げます。



事務局／白髭内科医院（院長：白髭豊先生）

担当者：金丸さん

住 所：長崎市片淵1-13-28

TEL：095-822-5620

FAX：095-824-1626

e-mail：info@shirahige.org

日本ケアマネジメント学会公開講座 in 熊本 第1回 熊本県介護支援専門員研究大会

テーマ 介護支援専門員の質の向上を目指して
～ がんばれ！ケアマネージャー ～

平成15年10月29日～10月30日 於：熊本ホテルキャッスル

社会福祉法人 春秋会
居宅介護支援事業所 リエゾン長崎
介護支援専門員 井上 明紀

今回の公開講座では、日本医科大学医学部リハビリテーション科竹内孝仁教授の講演があった。竹内教授は日本ケアマネジメント協会の理事でもあり、講座のテーマは「認定ケアマネージャー制度をめぐる」という演題であった。講演内容は、認定ケアマネージャー制度の概要説明を主に、介護支援専門員の現状と求められる介護支援専門員像について、たいへん興味深い内容であった。認定ケアマネージャーの資格要件は以下の通りである。

- 1：介護支援専門員の有資格者であること
- 2：「居宅」ケアマネージャーとして実務者であること
- 3：本学会会員として2年の会員歴を有すること
- 4：都道府県介護支援専門員協議会またはこれに相当する団体の会員であること
- 5：学会の定める研修実績を有すること（但し今年度は経過措置として除外）

介護保険制度設立と共に介護支援専門員の資格は発足し早4年を迎えた。しかしながら、自らも含め多くの介護支援専門員は設立当初の目的や役割を十分に果たしているとは言い難く、利用者の自立支援、ニーズへの対応不足を痛感させられた講演内容であった。竹内教授の「もう一度原点に立ち返るべき！」と厳しい言葉を借り、今一度介護保険における介護支援専門員の役割を思い返してみたい。ケアプランを作る時「自立支援」の観点を忘れていないか？ 過剰なサービスを提供していないか？ 利用者の「できる」まで取り上げてい



介護支援専門員の役割を思い返してみたい。ケアプランを作る時「自立支援」の観点を忘れていないか？ 過剰なサービスを提供していないか？ 利用者の「できる」まで取り上げてい

ないだろうか？ そして「利用者のニーズ＝要望、問題点」として捉えた思慮なきサービス提供の在り方で満足してはいないか？ 講演会の席には、自問自答を繰り返す自分が居た。

今回の講演会に参加し、毎日の多忙な業務の中で介護支援専門員の本質を忘れていたように思う。この講演会を機に、もう一度ケアマネジメントの原点に立ち返り、介護支援専門員として利用者の自立支援を念頭に置いたケアマネジメントを行っていきたいと考えている。

居宅介護支援事業所
メディカルネットワーク
介護支援専門員 勝矢 圭一

学会理事の竹内孝仁教授、熊本県介護支援専門員連絡協議会柏木明会長、熊本県副知事らによる挨拶で開会。最初に白澤政和理事より「ケアマネージャーに期待するもの」として

「可能な限り在宅で、質の高い生活を送れるよう支援していくべきである」という内容の、ケアマネの原点を再確認させられる講演であった。次に竹内孝仁理事より「認定ケアマネージャー制度をめぐる」という題目で、ケアマネジメントの質の向上とケアマネの専門性の確立等を目的として、設立された本学会と制度について、ケアマネの現状を厳しく評価しながらも、これらの創設の意義と必要性を提唱された。最後に全国介護支援専門員連絡協議会米満弘之副会長より「ケアマネジメントとリハマインドについて」ということで、

主治医意見書の積極的活用と近年のリハビリテーションの概念、そしてそれが果たす役割への期待について語られ、それぞれに非常に質の高い講演であった。



研修会等のご案内

平成15年度介護支援専門員現任研修 「専門課程」予定表

1) 場 所

【県央地区】ながさき看護センター

【県北地区】労働福祉センター

佐世保市立総合病院会議室

2) 日 時

平成16年3月5日(金) 県央・県北

9時00分～16時40分

平成16年3月6日(土) 県央

9時00分～16時10分

平成16年3月14日(日) 県北

9時00分～16時40分

3) 内 容

【1日目】

①介護保険制度の課題(2h)

※必修

②介護支援サービスの課題(2h)

※必修

③介護支援専門員特別講義(2h)

※希望受講

【2日目】

④施設介護支援演習(6h)

※施設サービス計画作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、施設サービス計画変更の過程を知る。施設における職種間の連携方法、施設外の資源の活用と連携方法を学ぶ。

⑤居宅介護支援演習(6h)

※居宅サービス計画の作成、モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更の過程に習熟しレベルアップを図る。グループ事例検討の方法に習熟する。

4) その他：希望受講研修

平成16年3月19日(金)

9時00分～16時10分

ながさき看護センター

⑥援助困難事例検討会

2) 中央ブロック

日時：2月中旬

内容：事例検討会

3) 北部ブロック

①日時：平成16年1月21日(水)

14時00分～17時00分

場所：北公民館視聴覚室

②日時：平成16年2月10日(火)

14時00分～17時00分

場所：女性センターアマランス

内容：①②いずれも事例検討会

北部基幹型支援センターと共催

平成15年度介護支援専門員講演会 実 施 要 領

1. 目 的 地域における高齢者支援のネットワークづくりの視点を学び、よい良いケアプラン作成に反映させる。

2. テーマ 『元気になる地域ケアコーディネート』

<内容> 講義及び演習

・点を線にするコーディネート、線を面にするコーディネート

・地域コミュニケーションを生み出すコーディネート

・元気になる仕事の仕方

<講師>

ケアタウン総合研究所 所長 高室成幸先生

3. 日 時 平成16年2月13日(金) 10:00～16:30

4. 場 所 長崎県勤労福祉会館

5. 定 員 200名

6. 対象者 実務経験2年目以上の居宅介護支援専門員

※現在、長崎市内で活動中の研究会、サークルなどで、掲載を希望される団体は、事務局までmail かFAX にてご連絡下さい。

ブ ロ ッ ク 研 修 会

1) 南部ブロック

日時：平成16年1月14日(水)

14時30分～

場所：勤労福祉会館

内容：痴呆に関する事例検討会

備考：事例検討会終了後、南部ブロックの新年会を企画しています。皆さん是非ご参加ください。

ホームページ開設予定のご案内

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会では、近々、ホームページ開設を予定しています。ホームページに掲載してほしい企画、情報等ありましたら、事務局までご連絡下さい。

(URL)

<http://www.cmtyanpon.com>
(近日公開予定)

トピックス TOPICS

九州厚生局・県長寿介護政策課の合同指導を受けて (私たちケアマネージャーに課せられるもの)

昨年11月20・21日、九州厚生局と県の合同指導を受けました。

九州厚生局は、年に10カ所位九州沖縄管内を回るそうです。選りによって何でうちがなんて考える間もなく必要な資料を揃えることになりました。

約1カ月半、とにかく記録を見直す作業にその殆どを費やしました。毎月ルーチンの訪問や給付管理もきちんとこなしながらの作業を、みなさん想像してみてください。そんな時に限って、入所意見書の依頼が何枚もあったり、調整がいくつも重なったりと日頃から記録に十分な時間を割けなかったツケがここに来て爆発した感じでした。

さてここで合同指導がどういう内容であったかほんの一部だけご紹介しましょう。

昨年4月の法改定後、減算対象となる毎月の訪問・最低3カ月に1回のモニタリングの記録・新規／更新時の担当者会議の開催や記録・ケアプランの更新やその交付などがきちんと行われているか等々、ケアマネ4人分のファイルが無作為に選ばれ事細かにチェックが入りました。ケアプランの内容についても詳しくヒヤリングがなされ、長期目標の挙げ方や短期目標の期間設定など、指摘があった部分に的確な指導がなされました。

昨年4月以降みなさんもモニタリングの方法など悩んでおられる方が多いと思いますが私たちも独自で支援経過やモニタリングに関する様式を作り、プランの評価方法なども試行錯誤していた矢先だったので、丁度自分たちがやっている記録や様式についても評価してもらえる良い機会でした。

何れにせよ「やってなければ減算です。」

という指導官のお言葉は、厳しくはありましたが、法律に則って動いていく私たちの業務は、記録がなければ何も始まらないし後にも残らないのです。

大変ではありますがこれからの私たちに課せられたものは、本来ケアマネージャーがやるべき事をきちんと行っていくこと。それを記録に残し評価しながらクオリティを上げていくこと。それがご利用者への良いケアに繋がっていくのだと実感した次第です。(現実には厳しいですが・・・)

厚労省や県の方々も一概にケアマネを責め立てに来られているのではなく、ケアマネの大変さを理解しようという姿勢が言葉の端々に窺え、現状を知っていただける良い機会だったと思います。

とにかくみなさん、今年もがんばりましょうね。

(文責) 長崎ダイヤモンドスタッフ㈱

在宅介護サービスセンター 高橋 律子

事務局便り

・会費納入のお知らせ

会費：平成15年度分 ￥10,000

※平成14年度分の会費を納入されていない事業所は振り込みをお願い致します。

社会福祉法人 平成会 長崎市在宅介護支援センタープライエム横尾内
長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局 事務局長 神村紀行

Tel. 095-856-6001, 095-814-6688, Fax. 095-856-6002

E-mail: kamimu-n@heisei-kai.or.jp

編集 後記

新年、明けましておめでとうございます。介護保険制度が施行されて、早や今年で4年目を迎えました。今号は、年頭となりますのでケアマネージャーの皆様の言いたい放題を特集しようとの声が多く聞かれケアマネかわら版特大号を特集いたしました。日頃、尽力されていらっしゃるケアマネージャーさんの生の声を反映させ日常のお仕事の励みにしていただければ幸いです。尚、誌面について、ご提案等ありましたら、下記のアドレスまでお願い致します。(文責) 古賀の里 林 尚雄
社会福祉法人 春秋会 リエゾン長崎 川副巧成 kousei@liaison.gr.jp

	ブロック長	副ブロック長
南部	榎本 哲子 (喜楽苑)	吉野 紀子 (上戸町病院ケアプランセンター)
中央部	道辻美佐子 (十善会ケアマネジメントセンター新中川)	林 尚雄 (古賀の里)
		狩生 賢一 (元船光タクシー㈱)
北部	大関 政昭 (プライエム横尾)	高橋 律子 (ダイヤモンドスタッフ㈱)
		佐竹 啓子 (フランスコケアプランセンター)

編集委員会

委員長：川副 巧成 (リエゾン長崎)
委員：向田 圭介 (フランスコケアプランセンター)

浜崎 克裕 (にしきの里)
林 尚雄 (古賀の里)
矢口あけみ (サンハイツ銭座)
築城 文子 (大浦診療所)

介護・福祉用品・販売・レンタル 長崎介護用品機器サービス

長崎県知事指定福祉用具貸与指定事業(4270101571)

● カタログは無料で配達致します ●

- 介護ベッド・車イス・介護用品・リフト等移動機器 ●
- 住宅のバリアフリー改造・改築(トイレ・お風呂の手すり取付け他) ●



全国共通どこからでも無料

0120-261-781
FreeDial

長崎市桶屋町13-1(長崎警察署裏) ☎ 095-826-1754
諫早市小船越町1002-1まるわいビル101 ☎ 0957-35-1241

介護用品・福祉機器 販売・レンタル
医療機器 販売



〒852-8132 長崎市扇町10-9

☎ 095-842-4371

FAX 845-2823

福祉用具レンタル・販売・福祉住環境改修工事

長崎市家族介護用品給付事業取扱店

福祉と医療と保健で社会に貢献する

株式会社 **テクノ・スズタ**

- 長崎市担当
淀川 正貴・山口 大輔・松下 務

無料電話0120-121-332
fax 095-839-5230

介護・福祉機器総合商社



長崎市清水町3番22号

TEL (095)814-0707

FAX (095)814-0860



福祉機器介護用品の
販売・レンタル・開発
住宅改修

(有) **リハテック**

高齢者及び障害者の方の
総合的環境整備を承ります

本 社 〒854-0071 諫早市栄田町22-35
TEL (0957) 25-4530 FAX (0957) 25-4501

長崎営業所 〒852-8131 長崎市文教町5-20
TEL (095) 842-7315 FAX (095) 842-7355

介護用品・自立用品・レンタル&販売
住宅改修

介護保険指定居宅サービス事業者
長崎県福祉用具貸与サービス指定事業所
事業所番号 4270101084

株式会社 カイダ

アイフルケア



〒850-0024 長崎市大井手町32

TEL 095-825-3438

FAX 095-825-3213

佐世保店・TEL 33-3320